がしたがすい **石田 画水**(生没年不詳、江戸時代)

俳人。宇摩郡八日市(現、四国中央市)を中心に活動した人。寛文 6 (1666)年の『俳諧洗濯物』に 句が収められており、翌年の『続山井』、『伊勢踊』にも句が収められている。特に延宝 4 (1676)年の『到来集』には、発句をはじめ多くの句が収められている。談林派(西山宗因を盟主とする俳諧の流派。字余り、奇抜な趣向、速吟など自由軽妙な句風を主張した)の岡西惟中とも交流があり、惟中編『俳諧三部抄』にも句が収められている。

略歷

生年不詳

荒木加友編『伊勢踊』刊行。画水の句が収められている。

延宝 4 (1676)年坂口湖号編『到来集』刊行。画水の句が収められている。延宝 5 (1677)年惟中編『俳諧三部抄』刊行。画水の句が収められている。

没年不詳

〈関連図書〉

・愛媛県史編さん委員会『愛媛県史 資料編 文学』 愛媛県 1982年

・愛媛県史編さん委員会『愛媛県史 文学』 愛媛県 1984年